

# The Reminiscence of Exellia NG+1

毀たれ壊れ、綻びて朽ちようとも

## 作成レギュレーション

### 基本概要（新規／継続）

- ・ 経験点：90000／96500 点
- ・ 資金：109500／118500G
- ・ 名誉点：1500／1800 点
- ・ 成長回数：169 回
- ・ レベル制限 9～10

### 各種制限

- ・ ヴァグランツ、蛮族 PC 禁止
- ・ SW2.0／2.5 標準流派入門禁止、標準流派の秘伝の習得・使用禁止
- ・ 武器防具強化に関する特殊制限（宿り木の棒杖、楔石強化を除き全面禁止）
- ・ シナリオ報酬の成長回数が 10 以上のとき、60%以上の偏重割り振りの禁止

## 動画用の参考資料

### 【重要】分岐ルート

条件 A：クラウドディア戦において、「2 分（12 ラウンド）以内にリミットブレイクを使わず 2 乙以内で討伐すること」

条件 B：ジーククレス戦において、「2 分（12 ラウンド）以内にリミットブレイクを使わず 3 乙以内で討伐すること」

『飢血の騎士』クラウドディア（ドロ：青ざめた二枚舌）→条件 A へ

→（条件 A 達成）『骨拳狂』ジーククレス（ドロ：骨の拳）→条件 B へ

→（条件 A 未達）雪原の氷馬（ドロ：骨の拳）→妖異アーリマン（ドロ：隕鉄重石）

→（条件 B 達成）隕鉄の巨人（ドロ：隕鉄重石、隕鉄の心核）

→（条件 B 未達）妖異アーリマン（ドロ：隕鉄重石）

必要になる〈聖女の指輪〉〈青ざめた二枚舌〉〈骨の拳〉〈隕鉄重石〉に加え、〈隕鉄の心核〉を獲得しているのであれば、エクセリア戦に於いて、初手から LB ゲージが最大蓄積する。

### 『飢血の騎士』クラウドディア

読み上げ：なし

カタリジェネ（ダークソウル3 動画：クアドラプルタマネギノアディショナルタマネギ参照）

### 『骨拳狂』ジーククレス

読み上げ：AquesTalk（ゆっくり）

カタリナックル（ダークソウル3 動画：トリプルタマネギ参照）

### 雪原の氷馬

読み上げ：なし

モンハンの麒麟みたいな外見。

### 妖異アーリマン

読み上げ：なし

FF16 を参照。

### 隕鉄の巨人

読み上げ：なし

スパロボ『アルトアイゼン・リーゼ』を参照。

## メモ群

### エクセリアに施された『強化』

魔動機文明時代に行われた強化を除くと、『浄罪の液球』で行われたいくつかの強化が挙げられる。

エクセリア自身が元から持っていた『浄火の力』の強化だけに留まらず、火の時代に於いて生まれることがなかった『戦乙女』として再誕させ、更に『大いなる祖龍の血』が注がれている。

その結果、エクセリアが使用する「太陽の光の槍」や「裁きの雷」が、本来の色に関わらず「深緋」になっている。

そのため、『ノーブルヴァルキリー』という種族名は、『<ruby>少なき生まれの<rt>ノーブル</ruby>』という意味であると同時に、『<ruby>原液の<rt>アップストリーム</ruby>』という意味も含まれる。

## 導入

### Reminiscences of Cinders

始まりは虚無だった。私に見えるものは、溢れんばかりの漆黒。それは、『聖王家』と呼ばれた、私の一族が…、火の時代を存続させるために、私自身を改造するために創り上げた『浄罪の液球』という施設に、家の者が放り込んだからだろう。

その当時の記憶を、物心ついていなかった私は、文献でしか知らない。だがこれだけは言える――。

それがなければ、私は私ではなかったのだろう、と。

今でも、私の中には…呪いを祓い、精霊と化す力が動いている。

石化した左腕に罹った、『エーテル枯渴』の呪いを祓うべく。

だが、それが今まで適わなかったこと、ホクトクラフトが己の悦楽の糧とするために、世界を滅ぼす方向で動いていることも、この呪いの解除に至らない理由があるのだろう。

恐れ知らずな冒険者をそばに抱えても、律の悦楽はそれらの実力を上回る。

…一度、手ほどきをしなければならぬ。彼らが、アレを超えられるように。

そう思って、私は『万一死んでも問題がないように』準備を進めた。

今なら…何をしても許されると信じている。

そうだろ、ホークウッド。

### 暗き魂の血瞳（ブラッドサイト・オブ・ダークソウル）

君達は、またしてもエメリーヌに呼び出されていた。

（※GMメモ：RP待機）

別に、君達がやらかしたわけではない。ただ確実に…、エメリーヌが困ったような表情を浮かべていることだけは事実だった。

そこへ、エクセリアが現れる。

エクセリア

「集めてもらっているようだね。

さてと…。目的は単純、君達の実力を、きっちりと測る。これから先の戦いで、無闇にその命を散らさなくてもいいように」

「ただ、最初にやるべきことがある。この前、君達は〈聖女の指輪〉を手に入れたよね。  
まず君達には、エフェメラル参道にたまに出現するという、『飢血の騎士』を倒してもら  
う。そのときの討伐時間、被害状況…それらを鑑みて、次にやるべきことを決定する」

## その命を遂行せよ ～始原の十四席の手ほどき・前哨～

### 飢血の騎士

その日は途轍もない大寒波に見舞われていた。確かに時季は冬。寒波が来るのは想定内  
だったが、にしても寒い。手がかじかんで動かない。足も冷えて、どう立っているのかさ  
えも把握できない。

その中でも、悠々とその騎士は歩いてくる。見覚えのある剣槍を担いだ彼女は、その鎧  
の奥の双眸を赤く光らせた。

### ステージギミック：猛吹雪

この戦闘中は、命中力・回避力・魔法行使に-4 のペナルティを受けます。

敵：『飢血の騎士』クラウドニア

君達は飢血の騎士を倒し、その舌を奪い取った。

(※GMメモ：RP待機)

それを、何らかの方法で見っていたのか、エクセリアが文字通り『転移』してくる。

### エクセリア

「流石だな。生粋の闇霊を相手にしても、倒してしまえるだけの実力…しっかり測らせて  
もらったよ」

そう言って、エクセリアは君達が持っていた『青ざめた二枚舌』を視る。

(※GMメモ：RP待機)

2分以内に、LBを使わずに2乙以内に討伐（成功）

### エクセリア

「…討伐時間はざっと2分以内。

リミットブレイクの形跡もなく、君達を殺した回数は2回以下…。上出来だ。君達にはこのまま、『骨拳狂』の討伐に向かってもらう。…この状況なら、そう遠くない位置にいるだろう」

(※GMメモ：RP待機)

エクセリア

「休まず走るのも、今回の要件だ。奮闘しろよ？」

2分以内に、LBを使わずに2乙以内に討伐（失敗）

エクセリア

「…討伐時間は、2分を超すか…。まあ及第点かな、倒せているし。君達にはこのまま、『雪原の氷馬』の討伐に向かってもらうよ。この大寒波だ、いるに違いない」

(※GMメモ：RP待機)

エクセリア

「あの程度の相手であれば、休む必要もあるまい」

**骨拳狂**

君達が、吹雪が止んだエフェメラル参道を進むと、悍ましい気配を感じ取ってか、背筋が寒くなる。

ジーククレス

「チャァァジング、ゴォォォォォォォ！！」

…悍ましい叫びと共に、殺戮者がエントリーした。

(※GMメモ：RP待機)

**敵：『骨拳狂』ジーククレス、カタリナの騎士（魔術）、カタリナの騎士（跳躍）**

君達は、骨拳狂を討伐することに成功した。

あまりにもイカした者であった。それへの執着が、あまりにもぶっ飛んでいた。

それから骨の拳を奪っても、その怨念を感じ取れるだろう。

**精神抵抗力判定 目標値：25**

成功時 1d+9、失敗時 2d+12 の MP 減少。このときに MP が 15 点以上減った場合、「10～12」を振り直しとする「バニッシュ/フィア―表」を振る。

エクセリア

「…倒せたようだな。ああ、アレの執着に対する文句は受け付けない。アレはああいう人間だからな」

再び、エクセリアが君達を視る。

**2 分以内に、LB を使わずに 3 乙以内に討伐（成功）**

エクセリア

「…討伐時間は…あそこまでの狂人相手に 2 分以内か。リミットブレイクの形跡もなく、君達を殺した回数は 3 回以下…。さすがだ。

君達にはこのまま、『隕鉄の巨人』の討伐に向かってもらうよ。今の君達になら、あの程度のゴーレムなんぞ、倒せるはずだ」

(※GM メモ：RP 待機)

エクセリア

「休ませろ？甘えるな、今日は休まず走ってもらう」

**2 分以内に、LB を使わずに 3 乙以内に討伐（失敗）**

エクセリア

「…討伐時間は、2 分を超すか。まあ、仕方ないよな、あんな狂人相手では。

君達にはこのまま、『一つ目の妖異』の討伐に向かってもらうよ。今の君達なら倒せるはずだ」

(※GM メモ：RP 待機)

エクセリア

「『一つ目の妖異』相手に休むだとか、補給だとかは甘えだよ。

…さあ、奔走してもらおうか、その発狂が振るい落とせるように。  
今日は休まず走ってもらうよ？」

### 隕鉄の巨人

君達は更に走って、マンダラム村に近い、エフェメラル大瀑布へ向かった。  
そこに、1体の侍蛮族がいた。

侍蛮族（汎用蛮族語）

「なんだ、貴様らは。ここは我らが制する地。人が入り込むことなど許されぬ」

そう言って、蛮刀を構える蛮族。

（※GMメモ：RP待機）

侍蛮族（汎用蛮族語）

「それを厭と言うのなら…、我らを退けて見せろ」

そう言って、侍蛮族は魔法を唱える。2体の『隕鉄の巨人』を呼び出した彼と、君達が  
相対する。

**敵：侍蛮族（ドレイクマーキスエコーストランセンデッド）×1、メテオライト・タンゲ  
ステンスチールゴーレム×2**

君達は、侍蛮族と、それが呼び出したゴーレムを倒した。

侍蛮族（汎用蛮族語）

「馬鹿な…！最高質の素材を用いて作った石巨人に、我が力を超えるだと…！？規格外め  
…！」

（※GMメモ：RP待機）

君達が、〈屑鉄重石〉と〈隕鉄の心核〉を回収し、立ち去ろうとすると、再び侍蛮族が  
立ち上がる。

侍蜚族

「マテ…！マダ…オレは…！」

彼が次の言葉を紡ぐことはなかった。いつの間にか近づいていた魔動天使に、その首を切り取られていたからだ。

(※GMメモ：RP待機)

エクセリア

「お疲れ様。これは…上出来じゃないか。『隕鉄の巨人』を2体も出されるという事故はあったが…それを払い除けるとは。今日は夕飯に期待しておけよ？明日が本番だからな」

雪原の氷馬

君達が、吹雪が止んだエフェメラル参道を進むと、そこを悠然と歩く氷馬を目にするだろう。あれが、討伐対象だ。

敵：雪原の氷馬

君達は、雪原の氷馬を倒し、それが落とした骨の拳を回収した。

しかしなぜだろう、君達が持ったその骨の拳から、途轍もない執念を感じる…！

精神抵抗力判定 目標値：25

成功時 2d+6、失敗時 2d+15 の MP 減少。このときに MP が 15 点以上減った場合、「10～12」を振り直しとする「バニッシュ/ファイア表」を振る。

そこへ、エクセリアが駆けつける。

エクセリア

「倒せたようだね。まあ…そこに怨念があることは言ってなかったね。すまなかった。…さて、まだ戦いは終わっていないよ。休ませたいかと言われれば休ませたいが、今日はこの寒さだからね…。ちゃんと走ってもらうよ」

(※GMメモ：RP待機)



エクセリア

「次は『一つ目の妖異』の討伐だ。寒いからね、休まず走った方が身体も温まるぞ」

### 一つ目の妖異

君達は更に走って、マンダラム村に近い、エフェメラル大瀑布方面へ向かった。

そこに、『一つ目の妖異』はいた。

言葉にならぬ声を上げ、それは君達に敵意を向けた。

(※GMメモ：RP待機)

### 敵：妖異アーリマン

君達は、妖異アーリマンを倒した。

帰って、エクセリアに見せるとしよう。

### 屈の談義

その日の夕方。

君達は、振る舞われた料理を手に取りながら、休憩をしていた。

リリアーナ

「…明日、主君との手合わせでしたね」

(※GMメモ：RP待機)

リリアーナ

「そのことを、フレイディアで倉庫番をしている彼女に話したら、『私にやらせろ！』と怒り狂っていましたよ」

そう話している間に、エクセリアがリリアーナを呼ぶ。

ふと、君達は彼女の手元を見る。

そこにあったはずの料理は、いつの間にかなくなっていた。

(※GMメモ：RP待機)

魔動天使は大食らい。

…そんな偏見が芽生えつつも、夜は更けていく。

(※GMメモ：

この回で〈隕鉄の心核〉を獲得していた場合、この時の食事の効果でリミットブレイクが3段階蓄積する)

## Whether she is damaged, broken, torn, or decaying

君達は、禊の聖地に集められていた。

エクセリア

「君達はここまで、長い道を歩んできた」

アルテマ

『その中で汝らに、厳しい苦難が降りかかることがあっただろう』

(※GMメモ：RP待機)

エクセリア

「それらを払い除け…今こうして、ここにいる。ここへ至っている。その手が血で汚れようと、邁進してきた証だ」

アルテマ

『だが…その切っ先、聖王たる者に届くか？』

エクセリアはアルテマをそこから離れさせ、君達に向き直る。

エクセリア

「私はこれでも、当主を継いでから今日まで、戦いと名のつくものに負けたことがなくてね…。武がこうであっても人のため、徳のあるまつりごとをしてきたことから、<ruby>『聖王』</ruby>なんて号をもらってる。

無名の王もなかなかだったが…、今はああして隠居しているだろ？私もいい加減、猛者の血に飢えてきたところでね…。

ここで高名な冒険者になったとしても…、その武勇、私の元まで届くかな？」

(※GMメモ：RP待機)

(※GMメモ：BGM「終滅の幻想 ～エクセリア前哨戦～ (正題：Dramatic 5)：戦闘開始～HP20%減少」

→「Soul of Cinder (前半)」：HP20%減少～HP50%減少 (完全アルテマ詠唱)

→「Soul of Cinder (後半)」：完全アルテマ詠唱完了後～終了)

(※動画用メモ：BGM「To Sail Forbidden Seas」：戦闘開始～HP20%減少

→「灰より生まれし者」：HP20%減少～HP50%減少 (完全アルテマ詠唱)

→「天より降りし力 (Orchestral)」：完全アルテマ詠唱完了後～終了)

エクセリア

「…私を、召喚獣の姿だった私を、一度は仕留めてみせたからか…その胆力、本物のようだ…。ならば、その武で示してみせろ。この星が生きるに値すると…、終滅に屈さぬと言う意志を…！」

**敵：“最果ての聖王”エクセリア**

君達は、エクセリアに押し勝った。

彼女は、その身に走る痛みを深く感じ取り…そして、君達を判ずる。

エクセリア

「ここまで拮抗したのは初めてだよ。…アレを…、完全アルテマを受けきった“今人”は、君達以外にはいなかったと思うよ」

(※GMメモ：RP待機)

エクセリア

「ニコルが私と戦った場合…恐らく、初手で詰んでいたとは思うがね」

そう言って、既に逝ってしまった彼女を引き合いに出す。最も、エクセリアの知る彼女の像は、10年前のあの日のままだが…、それを抜きにしたとしても、無理だろうと予想していた。

リリアーナ

「我が主君。…試練は、突破ということですか？」

エクセリア

「ああ…。彼らは十分な実力を持っている。そろそろ、『財団』の挑戦状に応えてもいいかもな。ただ、こればかりは、君達の準備が整うまで保留するでしょう。アイザック…奴の言う、『人間の可能性が存在しない』という理論。君達になら、ひっくり返せるやもしれん。

叛意も虚しく亡くなった、ニコルの分まで…この物語、存分に書き綴らせてもらおうぞ」

そう言って、エクセリアは天を仰ぐ。

君達には見えなかったが…天に、あのウザい顔で君達を侮蔑するニコルが、エクセリアの『眼』には映っていた。

エクセリア

「お前は…、この世界を棄てた。だが、続けることで、証明してみせよう。私達のいる、この世界が、星が…続いて行くに値するものだ」と

君達は、始原の十四席の手ほどきを制した。

## 報酬

### 経験点

- ・ 基本：2500 点
- ・ 「始原の十四席の手ほどき」2 乙以内クリア：5000 点

### 資金

- ・ 基本：22500G
- ・ 「始原の十四席の手ほどき」2 乙以内クリア：15000G

### 名誉点

このシナリオに名誉点報酬はありません。

### 成長回数

- ・ 基本：14 回
- ・ 始原の十四席の手ほどき：13 回

### その他報酬

それぞれの個数（×1 など）は、ひとりあたりの個数となる。

また、ウェポンチェスト／アーマリーチェストは、シナリオ終了後に対応したアイテムと交換される。

#### ウェポンチェスト／アーマリーチェスト

- ・レミニセンス・ウェポンチェスト（シナリオ終了後に対応したジョブ武器と交換）×1
- ・レミニセンス・アーマリーチェスト（シナリオ終了後に対応したジョブ防具と交換）×1

#### アイテム

- ・リリアーナ特製のアーチンテリーヌ×3
- ・エクセリア特製の豚角煮×3

### 監視者たちの動向

一方、某所——

#### 財団

『…そうですか。彼女の手ほどきを、あの冒険者たちが』

——財団の根拠地

????

『どうする？今すぐにでも、奴らに襲撃をかますことができるが』

#### 財団

『いえ。彼らが撒き餌にかかるのを待ちましょう。彼女の手ほどきを超えたなら…、そろそろ、我々の撒き餌に掛かる頃合いです』

????

『そうか…。なら、彼女を起こすでしょう。先日倒された、「N」に代わるものだ』

…悪意は静かに、深淵で動き回る。

そしてその戦いは、人々に理解させるだろう。

世界の『破滅』を。